重要保管 本紙では、お買い求めいただいた製品についての仕様を記載しております。
ご覧いただいた後も大切に保管してください。

本製品をお買い求めのお客様へ

◎型名・型番について

このたびは本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は VN570/FS をベースに企画されたモデルです。
本製品に添付のマニュアル等では型名・型番を下記の通り読み替えてご覧ください。

	マニュアル等での表記	本 製 品
型 名	VN570/FS6W	VN570/FS1SW
	VN570/FS6B	VN570/FS1SB
	VN570/FS6R	VN570/FS1SR
型 番	PC-VN570FS6W	PC-VN570FS1SW
	PC-VN570FS6B	PC-VN570FS1SB
	PC-VN570FS6R	PC-VN570FS1SR

＜裏面もご覧ください＞

853-810924-634-A

810924634A

◎本体仕様一覧について

下記のホームページに記載された仕様一覧を、次のように読み替えてご覧ください。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201109/bios-siyou/v1/mst/1109siyou_VSN.pdf

参照
「仕様一覧について」(「ソフト＆サポートナビゲーター」検索番号 93230010 で検索)

なお、添付のマニュアル『ユーザーズマニュアル』-「仕様一覧」-「本体仕様一覧」にも仕様一覧の一部を記載しています。この内容についても、同様に読み替えてご覧ください。

		ホームページでの記載	本 製 品
CPU		第 2 世代 インテル® Core™ i3-2330M プロセッサー	インテル® Pentium® プロセッサー B950※101
	動作周波数	2.20GHz	2.10GHz
	コア数／スレッド数	2 コア／4 スレッド(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)	2 コア／2 スレッド
	キャッシュメモリ	3MB(3 次キャッシュ)	2MB(3 次キャッシュ)
メインメモリ	標準容量／最大容量	4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB × 1 、PC3-10600 対応、デュアルチャネル対応可能)／8GB	4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-10600 対応、デュアルチャネル対応)／8GB ※102※103
	スロット数	SO-DIMM スロット×2[空き:1]	SO-DIMM スロット×2[空き:0]
表示機能	グラフィックアクセラレータ	インテル® HD グラフィックス 3000(CPU に内蔵)	インテル® HD グラフィックス(CPU に内蔵)
通信機能	ワイヤレス LAN	高速 11n 対応ワイヤレス LAN 本体内蔵(IEEE802.11b/g/n 準拠)、インテル® My WiFi テクノロジー対応、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応	高速 11n 対応ワイヤレス LAN 本体内蔵(IEEE802.11b/g/n 準拠)、インテル® My WiFi テクノロジー対応
入力装置	キーボード	ワイヤレスキーボード(109 キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン、マイ チョイスボタン、ECO ボタン、ズームボタン付き)	ワイヤレスキーボード※104※105※106(109 キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン、マイ チョイスボタン、ECO ボタン、ズームボタン付き)、抗菌対応(効果試験方法:JIS Z 2801:2000)※107

※101:インテル® バーチャライゼーション・テクノロジーには対応していません。
※102:最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(4GB)を 2 枚実装する必要があります。
※103:2 つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※104:金属製の机の上などで使用した場合に、動作に影響することがあります。木製の机などの上でのご利用をおすすめします。
※105:キーボードの電池寿命は、アルカリ電池で連続使用した場合、約 1 年になります。(週 5 日、1 日 8 時間通電の場合。ご使用の環境条件や方法により異なります)
※106:使用可能な最大距離は約 10m、推奨動作距離は約 3m になります。(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※107:本製品のキーボードは、抗菌機能を有するために抗菌塗料を塗布しております。抗菌塗料は、紫外線(直射日光など)などの影響や長期間の使用に伴い変色する恐れがありますが、キーボードの機能としては問題ありません。抗菌効果は、抗菌塗膜の摩耗により低下致します。塗料に含まれる抗菌剤は、抗菌製品技術協議会(SIAA)で認定されておりますが(登録番号:JP0111027A0012Q)、万が一キーボードの使用により、赤み、はれ、かゆみなどの症状がみられる場合は、ただちに使用をお控えいただき、皮膚専門医にご相談ください。
【試験機関】財団法人日本化学繊維検査協会 【試験方法】JIS Z 2801:2000 に基づく 【抗菌方法と場所】無機抗菌成分(亜鉛系)をキーボードのキートップに塗料 【試験結果】抗菌活性値 2.0 以上